

## 平成30年度 第1回 日進市環境まちづくり評価委員会 議事録

- 日 時 平成30年11月27日(火)  
午後6時から午後8時まで
- 会 場 市役所南庁舎2階 第5会議室
- 出席委員 森下英治(会長)、原理史(副会長)、伊藤佳世(委員)、小林敬幸(委員)  
島田知彦(委員)、武田美恵(委員)、谷口功(委員)
- 事務局 市民生活部次長、環境課長、環境課主幹、環境課環境政策・ESD推進係長、  
環境課環境政策・ESD推進係主事
- 傍聴者 なし
- 内容
  - 事務局開会を宣す
  - 出席委員の確認 7名中7名の出席。日進市環境まちづくり評価委員会要綱第3条の成立要件を満たしていることを確認。

### 議題

#### 1 平成30年度版日進市環境基本計画年次報告書について

会 長：ただ今から平成30年度第1回日進市環境まちづくり評価委員会を開催します。

それでは、平成30年度版日進市環境基本計画年次報告書について、事務局より説明をお願いします。

(事務局より説明)

会 長：何か質問やご意見はありますか。

委 員：市民に開放された樹林地箇所数の補足説明が、一般の市民には分かりづらいのではないのでしょうか。

事務局：修正します。

委 員：平成29年度の途中で赤池プライムツリーが完成したが、その連携等の情報が少ないのではないのでしょうか。

事務局：ごみ分別のパンフレットを設置する等の取組みを追加で記載します。

委 員：イトーヨーカドーさんは、ごみ袋有料化も行っているのではないのでしょうか。

事務局：確認させていただきます。

委 員：大学連携に関する記載で、数が多いことは良いことですが、内訳はどうなっていますか。

事務局：確認させていただきます。

委 員：こどもエコクラブ事業ですが、サポーターズ制度に吸収されたということでしょうか。

事務局：吸収されたわけではなく、こどもエコクラブは国の制度として継続していますが、日進市として推進しているものがサポーターズ制度になります。

委員：別の形で目標は達成していると言えるにも関わらず、こどもエコクラブの人数だけ表やグラフにしているのは、実情が見えにくいと思います。サポーターズ制度の子ども会員数のグラフも追加したほうが良いと思います。

事務局：こどもエコクラブへの参加こども数のグラフ横に、参考としてグラフを追加します。

委員：進行管理指標のグラフと、施策の具体的取り組みとの関係性が分かりづらいのではありませんでしょうか。

事務局：環境基本計画の進行管理指標とプログラムが連動しているように見えて分かりづらくなっているため、表現を工夫します。

委員：リサイクル率が下がっている理由はなんですか。

事務局：担当に確認したところ、はっきりとした原因があるわけではなく、資源の収集量が総じて減っているようです。その中では、特に新聞紙の収集量が減っているようです。

委員：別のルートに流れているということですか。

事務局：新聞販売店からの情報では、購読量自体が年々減っているようです。また、新規で開店した店舗などで、自主的に回収しているところがあるようで、全体までは把握できていません。

委員：報告書に記載されている回収された資源量は、市で把握ができていない回収された資源の量ということですね。

事務局：はい。数字は、環境省から毎年調査がくる、ごみの実態調査から取っています。

委員：ごみの組成調査は行っていますか。行っているのであれば、そのデータと照らし合わせることで原因が分かるのではないのでしょうか。

事務局：行っております。組成調査のデータも参考にさせていただきます。

委員：大型店舗では資源を回収していると思いますが、そういった店舗からデータはもらえないですか。

事務局：古紙業者などからはデータを貰っていますが、スーパーなどの店舗からは現在はデータを貰っていないため、貰うことができないか確認します。

委員：市の把握できない回収場所に資源が流れた場合、見かけのごみ総量は減ることになります。正確なデータが欲しいところです。

委員：最近空き地などで資源の回収を行っているところがあります。そういった場所の把握は市で行っていますか。

事務局：古物商の許可を持っているが廃棄物の収集許可を持っていないという業者が行っているため、廃棄物という扱いにはならず、完全な把握はできておりません。

委員：くるりんばすの利用率に関して、行政職員が公共交通機関を利用するようにしていただきたいと思います。

委員：職員のエコモビ率が下がったというお話がありましたね。

事務局：はい。環境保全・創出のための行動計画の中でエコモビ通勤（自家用車以外の手段で通勤）を目標としていますので、その達成具合を毎月把握しています。平成29年度は、その達成率が下がってしまいましたので、職員に対して強く啓発していきます。

委員：野焼きに関してですが、昨年よりも苦情件数が増えています。周知方法などを工夫したほうがよいのではないのでしょうか。

委員：家庭ごみを燃やしているのではなく、畑の草などを燃やしているということだと思い

ますが、それでダイオキシンは発生しますか。

委員：農薬の中に塩素がたくさん入っていて、それを低温で燃やすとダイオキシンが発生します。

会長：ここでは、市民の方の苦情になる野焼きが何件かという話になります。たしか野焼きは農作業に伴うものなら法律の除外要件となっていましたよね。

事務局：はい。

委員：法律上問題のない野焼きであるならば、この報告書にネガティブな表現として書く必要はなく、苦情件数を悪質な場合だけにしてはどうですか。

事務局：表現の方法を工夫いたします。

委員：平成29年度の実施状況をまとめている部分を、もう少し詳しく書いてもよいのではないですか。次年度以降の予算措置の根拠となってくる部分のため、どの指標が悪くなったなどの記載をしてもよいと思います。

委員：〇〇講座の中で普及啓発を行った、といった実績の中で、対象講座の件数や参加人数の記載があるものと無いものがあるため、統一してはどうでしょうか。

事務局：修正します。

委員：太陽光発電設備設置世帯割合の数値ですが、分母の世帯に集合住宅も含まれていますか。

事務局：はい。

委員：集合住宅では設置したくてもできない世帯も多いと思います。より実態に近い数値を表すように数字の出し方を工夫してみたいかがでしょうか。

事務局：検討いたします。

会長：いろいろ意見がでましたが、ここでやわらか版の説明をお願いします。

(事務局より説明)

会長：それでは、委員の方で何か意見はありませんか。

委員：笑顔のマークがずれている箇所があります。

事務局：修正します。

委員：せっかくSDGsについて触れているので、内容のジャンルごとにSDGsのアイコンを記載してはいかがでしょうか。

事務局：記載します。

委員：環境パートナーシップ協定締結団体数の部分ですが、環境まちづくりパートナーシップ制度で補完していると記載はあるものの、せっかく団体数も多いですので、括弧書きで数字を記載してもよいのではないですか。

事務局：そのように対応します。

委員：森林面積に関する木祖村分収造林事業の部分の書き方が少し気になります。今の書き方では、日進市で森林面積は減っているが他所にあるから良いという文脈に見えてしまうため、修正していただきたいです。

事務局：修正します。

委員：エコフェスタ参加団体数の数値は、カウントの仕方に問題があるかもしれませんね。

環境ゾーン以外にも環境の団体は出展していることがあると思いますので、集計の仕方や基準についてご検討いただきたいと思います。

事務局：検討します。

委員：いろいろな団体があるため、タグ付けが必要かもしれませんね。

会長：エコフェスタの参加団体がわいわいフェスティバルの環境ゾーンという考えは一度止めましょうということですね。

委員：ライフスタイルの項目で住宅用省エネ機器の説明がありますが、日進市では多くの補助金実績があるので、実績件数を記載したり、ZEHについて記載したりしてみてもいかがでしょうか。

事務局：検討します。

委員：大気汚染に係る環境基準適合率が100%となっていますが、なぜ100%となっているのか根拠が載っていないため分かりづらいと思います。

委員：どこで測って、何をもちいて基準をクリアしたのかという記載はするべきではないでしょうか。

事務局：担当に確認し、記載します。

委員：繰り返しになりますが、野焼きは原則禁止で、農業に関しては止むを得ない場合を除き禁止です。この止むを得ない場合を市がどう定義するかが大切だと思います。

委員：原則禁止であるという事実を、市民が知っていなくてはいけないと思います。日進市ではどのように周知していますか。

事務局：HPや広報で周知を行っております。

委員：なぜ行ってはいけないのかという周知をするべきだと思います。

事務局：はい。

会長：他に意見はありませんか。

委員：最後になりますが、日進市では次の総合計画策定が始まると思います。このまちづくり評価委員会での議論や、環境基本計画の理念を、総合計画に反映させることができるように努力していただきたいと思います。

委員：それはとても重要なことだと思います。

事務局：はい。

会長：今回の委員会が出た意見を反映させた修正版を、パブリックコメント前に送っていただくことは可能ですか。

事務局：はい。

会長：修正版を見て、会長と副会長の判断でパブリックコメントにだしてよいか確認をさせていただきます。

会長：パブリックコメント後は、軽微な意見にとどまるようであれば会長・副会長の判断で修正しますが、大きく変更が必要な意見が出た場合は再び委員会を開催することになりますが、いつ頃になるのでしょうか。

事務局：パブリックコメントを1月中旬から2月中旬で予定しておりますので、2月下旬から3月上旬になるかと思われます。

会長：開催になっても良いように、日程調整を事務局でお願いします。

事務局：はい。

委員：最後に感想ですが、昨年よりも作りが丁寧になっていると感じました。昨年は未実施という項目が多かったですが、今回は理由も含めて書かれておりましたので良かったと思います。

会長：これで平成30年度第1回日進市環境まちづくり評価委員会を閉会します。

事務局 閉会を宣す（20時00分）